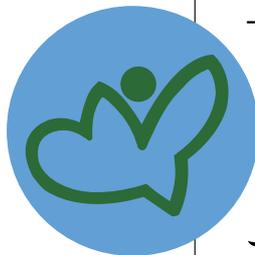




コミュニティバス“おと姫バス”



出発式



9月定例会/目次

委員会報告

11
~
12

一般質問

3
~
10

決まった主なこと

2

おおさきかみじま 議会だより

第10号/2005年11月18日

大崎上島町議会

☎ (08466) 5-3130 (直通)

FAX (08466) 5-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

E-mail: gikai @town.osakikamijima.hiroshima.jp

9月定例会

平成17年9月議会は9月20日から9月27日までの会期で開催しました。
町長の定例会での説明を受け、活発な論議を展開し、提案された議案は原案どおり可決しました。

9月定例会で決まった主なこと

一般会計補正予算

2億1千3百万円を追加

特別会計補正予算(介護保険事業外5事業)

1億1千3百万円を追加

○人権擁護委員の推薦

東野 岡本光雄氏(外表区)



○11月より実施のコミュニティバスの設置及び管理に関する条例外1件

○知的障害者通所授産施設新築工事請負契約外6件

○決算特別委員会の設置

委員長：赤松良雄 副委員長：谷本 昌

委員：浜田明利・松原 茂・蒔田篤雄・福増 進

○平成16年度一般会計歳入歳出決算外12会計の決算報告について、決算特別委員会において継続審査

一般質問

町政を問う

問 安芸津港の改修整備を東広島市に

答 重要事項なので東広島市へ強く要望する



議員 熊佐 尊徳

質問（熊佐議員）

今日の島の過激な過疎化の状況を打破するためには、東広島市との関係を強化していくことが急務だと考えています。その為には、交通網の玄関口である安芸津港湾の改修、整備が不可欠であると考えます。企業集積地である東広島市内への通勤、広島大学を含めた通学、3次救急医療、リハビリセンター等への通院、新幹線、保健所、地域事務所を含め公的機関への交通手段等将来飛躍的に伸びる路線だと考えております。又、これを利用して島も生き残

問 救急ヘリの現状と利用促進について

答 県に強く要望したい

質問（熊佐議員）

脳、心臓疾患の患者は時間の短縮が一番の課題だといわれます。救急車で2次、3次医療機関に長時間かけて搬送し命取りになった例が最近2、3あります。県としても救急ヘリコプターの利用を進めております。平成17年ドクターヘリ導入という方針がありました。離島として県に早急な夜間ドクターヘリの運航をお願いし、町としてその受け皿の整備を早める必要があると思

答弁（町長）

島地域として救急、緊急に対応する為にはヘリコプターを使う必要があります。受け入れ側のお医者さんの対応もあります。適正な指示を出す島内のお医者さんの方が大事なので、医師会等と十分協議していきたい。夜間ドクターヘリについては全県の中で協議を進める必要がある。町長会として県に強く要望していきたい。ヘリの出動はここ数年変化は無いが県の方も夜間ドクターヘリは必要性を認めているので試行運航をお願いしたい。

答弁（町長）

島地域の私どもにとつて対岸の港、港湾整備は重要な事項であります。広島中央広域の市町村計画が平成15年9月に策定されています。その中で港湾の配置方針で大崎上島町との連携強化と物流機能、防災機能の強化が掲げてありますので東広島に強く要望していきたい。海上交通と陸上交通の利便性がセツトになっている事が重要なので、その整備を皆さんの協力を得て行いたい。



救急ヘリ

問 町ホームページの活性化を

答 前進的に取り組みます



ふくすむ 議員
福増 進

日のうちに情報を配信してはと思います。また、他市町村のホームページを参考に各課が連携を密にとつてホームページの充実に力を入れていただきたいと思います。ですが、いかがでしょうか。

答弁 (町長)

ホームページを開設し、いろんな意見がそのまま反映されている状況にないということは十分承知しております。指摘のあった部分については、前進的に改善し取り組んでいく努力をしていきたいと思えます。

答弁 (企画課長)

住民の方々が、知りたい情報は職員で努力すれば可能ですのでやっていきたいと思えます。

町のホームページは町からのお知らせ、イベント開催の案内など町内外へ発信する、あるいは、住民の声を聞き町の活性化を推進していく上においても大きな役割となつていて考えます。そのホームページもまだまだ改善していかなければならぬのではないのでしょうか。住民の声を聞く、テーマを決めて町長への項目も、トップページに掲載すればよいのではと思えます。先般行われた、議員選、これから行われる町長選等においても最終結果をその

問 大串干拓地は積極的に土砂搬入をすべきでは

答 周辺と調和した整備が必要



のぶたに としき 議員
信谷 俊樹

土も利用しながらブロック区割りで埋め立てた方が有効ではないのか。

答弁 (町長)

ブロック・ゾーンを設けて完結方向は正しいと思います。搬入過程において、道路とか水路などが整備されずきているので、周辺の集落に不便を与えないように仕上げたいと思います。民間残土については受け入れはしません。

質問 (信谷議員)

大串干拓地全部の土地埋め立てをするのに、約50年かかるので公共残土だけにこだわらず安全な民間残

問 アスベストとロックウールの違いは

答 アスベストは毒性があるがロックウールは無毒です

質問 (信谷議員)

アスベストを公共場所のどこに使用しているのか公表して町民の不安を取り除くべきでは。またアスベストとよく似ているロックウールの違いを周知すべきでは。

答弁 (町長)

アスベストとロックウールは両方とも鉱石から抽出されアスベストは毒性がありロックウールは現時点では毒性がありません。昭和50年代に建築資材として使用されてきました。現在、

問 地域振興課に予算付けをしては

答 予算付けは考えていない

質問 (信谷議員)

地域振興課に独自の予算を付ければ即応的対応ができ、地域住民も喜び、職員も積極性が出て、役場全体のレベルアップするのでは。

答弁 (町長)

合併して初年度はある程度対応できるようにしました。しかし、系統的一本化の方が仕事をする上で望ましいので整理し、現在にいたりました。

限られた予算の中で効率的に物事を処理し、地域バランスの中で公平さが大切だと思えます。来年度の予算執行においては十分検討します。

役場本所、支所、教育施設、公営住宅、所管の財産などについて調査進行中です。

問 町内の医療機関の充実は

答 医師会と協議します



あかまつ よしお 議員
赤松 良雄

再質問（議員）
UターンやIターンで都市から帰る人の多くは、医療が充実していなければ帰らないと言う調査があります。医師の仕事の忙しさは考えなければなりません。医療を充実のため医師会と話をしてほしい。

再答弁（町長）

医師の負担や高齢化で患者に対応も難しい。医師会と協議する。



消防署

問 消防職員の大量退職対策は

答 計画的に採用します

質問（赤松議員）

消防職員を採用しても消防学校で6ヶ月、救急業務で2ヶ月訓練があります。

この実態をどのように解消していくのか。
答弁（町長）
豊町が当番医の場合は消防署が陸部へ搬送している。広島県等へ医師の確保を要望している。

島外搬送になると3人が救急艇に乗るため、島内業務が困難になるため非番の2人を招集します。こうした実態を町長は知っているか。
竹原広域行政組合の消防業務ではここ5から6年で40人退職予定です。採用してもすぐに業務はできない。現在欠員2名も出ているし上島消防署の業務に支障が出ている。

竹原広域の予算審議が大崎上島町議会が少ないのは。

答弁（町長）

消防職員大量退職者の指摘はわかります。管理者である竹原市長と協議し計画的に採用します。

広域組合の予算執行に関し町議会で議論が少ないことはご指摘のとおりです。議員に理解してもらうため改善します。



問 高潮対策について

答 広島県と協議する

質問（赤松議員）

先日の台風14号により床上3世帯・床下浸水105世帯が被災した。台風や大潮で何度も被災している。もつと予算をつけて工事すべき。被災住民への今後の工事計画・説明会の開催をすべきでは。

答弁（町長）

高潮対策は広島県と協議する。物理的に浸水を防ぐことは困難です。工事する前に住民に説明する。



高 潮

竹原広域消防職員退職予定数

	竹原広域	上島出身
2005年	1人	0人
2006年	5人	2人
2007年	7人	1人
2008年	7人	3人
2009年	10人	3人
2010年	10人	5人

問 町のアスベスト調査の対応は

答 早急に対応します



もりがわ いえただ
森川 家忠 議員

対応をしたいと思います。分析結果しだいでは、除去工事の可能性もあります。現時点では、毒性のものについての把握は、されておられません。

答弁（総務課長）

今年度中に、調査の取り

まとめ、分析を完了したいと思っています。できるだけ早急に対応します。



アスベストが含まれていた天井（開発センター）

問 今後の財政運営は

答 行財政改革を柱に効率的な執行を

質問（森川議員）

今後の財政事情は、大変厳しいものがあると思います。町長として、どういった所を力を入れ、取り組みをしていこうと思われているのか。お聞かせください。こうした中でも、町民の方々が期待している、新町建設計画にあるメニューも、着実に進めていかなければならないと思います。「財

政的に厳しい中でも、頑張るぞ」という町長の意気込みをお聞かせください。

答弁（町長）

合併時の新町建設計画での10年間の財政推計と比べ、3年しかたっていない現在で、すでに、一般財源の額が大幅な減となってきたております。こうした中ではあります。こうした中ではあります。新町建設計画に基づいた諸事業は効率的な執行を心がけながら執行していきます。

アスベストが人体に及ぼす危険性が問題となり、国・県もその調査と対応に動いています。町として、管理している建物に対し、どの程度、調査が進んでいるのか。また、今後どのような対応をしていくのか伺います。

問 住民の相談に早急に丁寧な対応を

答 最大のサービス機関に努めます

質問（森川議員）

「すぐに、何でも対応してくれる課がほしい」これは、住民の生の声です。役場に相談に行った際に、「あつちこつち、たらい回しにされた」とか、十分な説明もなく「できない」と言われた。ということだそうです。私は、この「課の設置を」という、このままをお願いするつもりはあり

ませんが、町長として、こういう住民の声が出ないよう職員の指導を今一度徹底していただきたいと思えますが、町長の所見をお聞かせください。

答弁（町長）

こういう事例があったとすれば、責任者として、おわびを申し上げたいと思います。行政は、その地域に



とって最大のサービス機関であります。職員もそういう視点で対応をしてくれていると思っておりますが、今後は、特に窓口対応に対する職員の意識というものを、徹底していきたいと思えます。

職員の採用につきましては、来年度までは考えていませんが、それ以降は、組織的なことも考慮し、若干名の採用は必要なのかと思っております。

現在、調査の準備をしています。建設当時の設計会社等に、材料の把握を依頼していますが、全部を収集して、分析をするまでは行っておりません。早急に

問 空き家活用計画の推進を

【答】 200軒の利用可能な空き家の状況調査を進めます



なかむら しゅうじ 議員
中村 修司

わせたの取組みとすることが有効では。

【答弁（町長）

現在、空き家総数が480軒で、居住可能軒数が約200軒との把握です。

これまでの地域の情報での把握ですが、個別の調査を進め、権利関係などについて状況把握を進めます。農地の提供などについては、農地流動化の課題とあわせて検討します。

【質問（中村議員）】
住民の協力体制のもとで、空き家を活用して定住促進を図る取組みを進めるべきでは。また、放任されている農地を活用してIターンやUターンの呼びかけと合

問 行政書士による戸籍等不正取得にどう対処するか

【答】 調査対象者への本人確認を検討したい

【質問（中村議員）

兵庫・大阪の行政書士三名が、戸籍謄本などを不正取得し、身元調査を目的に興信所や探偵社に大量に横流しをしていたことが明らかにされています。

②簡単に人権侵害を発生させる現行制度の不備への方策は。

【答弁（町長）

現在の法体系において、対応せざるを得ない形の中で事件となっています。今後は、対象者本人の確認・同意が必要と思っています。ただ、法務省なども対応を検討中とのことであり、

大崎上島町にもその該当者から戸籍謄本の請求があり、送付していることが明らかになっています。

①不正取得の可能性のあるこの事案にどう対処する

問 大崎開発センターの改修を

【答】 来年度に向けて準備します

【質問（中村議員）

大崎開発センターは、昨年実績で年間利用回数1300回、年間利用延べ人14,000人となっており、最も利用頻度の高い施設です。

見受けられ、改修の要望も強くなっています。

合併時の経過等も踏まえ、早急に改修に着手すべきと考えますが、町長の考えは。

【答弁（町長）

開発センターは改修が必要と認識しています。

速やかな対応を求めています。

【答弁（住民課長）

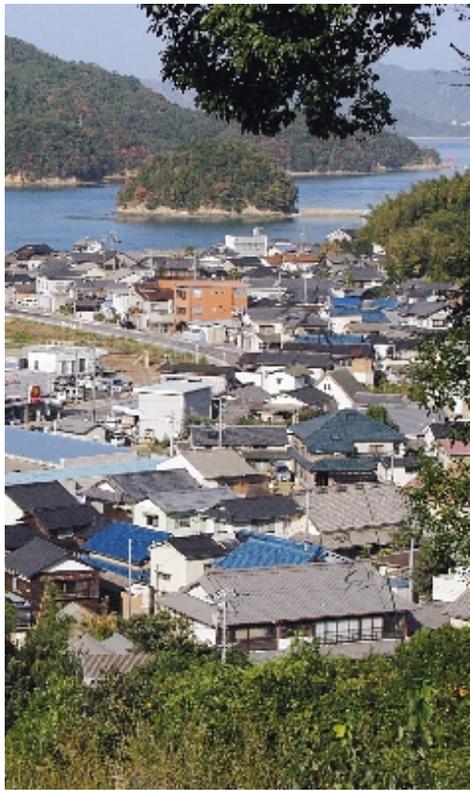
不正取得については、本人告知を検討します。



開発センター

調理室の機器も非常に古く、空調もセンター方式です。ですので改修が必要です。

庁舎前の駐車場の整備と合わせ、来年度での合併特例債事業での準備をしたい。また、木江支所・大崎支所・開発センターの三階の有効活用に向けて、エレベーターの設置も検討したい。



問 教育長の教育理念は

答 ケースバイケースです



わたなべ としのり 議員
渡辺 年範

再質問（渡辺議員）

学校敷地内での禁煙については、「嫌いなものは排除」的教育としか思えない。世の中には危険な事、してはいけない事がたくさんあるが、それ等を排除するよりもどうすれば安全に危険から身を守るかその対処方法を教えるのが教育だと思うが。

受動喫煙防止と言っても子どもがいない所で吸うのに受動喫煙の問題は発生しない。また、喫煙防止環境作りといいつつも学校を一步出れば、家庭で親が吸っているかも知れないし、役場、病院、空港では喫煙場所が作られており、あなたの言う喫煙防止環境にはなっていない。しかしこういう喫煙場所があるからこそ喫煙時にはその場所で、くわえタバコはダメというマナー教育ができるのではないか。子どもに対処の仕方を教えるのが教育だと思うが。

再答弁（教育長）

大人が自分の行動で子ども達に吸わない環境を示してやることは大事であり、喫煙児童がいないのは地域の目、学校での教育という中で我慢ができてくるからで、そういう教育は重要だと思っている。

再々質問（渡辺議員）

私は、あなたの教育理念として、嫌なものを排除する教育か、それともそれらの対処の仕方を教えるのがより教育的かを聞いているのだが。

再々答弁（教育長）

ケースバイケースです。危ない所へ子ども達を近づかせない教育も必要であると思います。

答弁（教育長）

それはケースバイケースによって判断すべきで、全てのものがそういう形の中で整理がつくと思っていない。



役場本庁の喫煙スペースにおかれているエアリウム

問 中学校保護者との話し合いは

答 議会の理解を得て説明します

質問（渡辺議員）

- ① 中学校の統合時期は
- ② 保護者との話し合いは進んでいるのか

答弁（教育長）

① について計画では21年度までに統合することになっており、その方向で動向している。

② については、文教委員会で課題をいただいているので、議会のご理解を得て保護者に説明して参ります。

再質問（渡辺議員）

議会の承諾を得て保護者に話しに行くというのは逆ではないか。事業を計画し予算を組むのは執行部の職務であり、その計画に織り込むのは当事者（保護者）の意見であって、議会の意見じゃない。すなわち、当事者の最大の利便性を考えて、計画・予算化し、その後、議会の意見を聞くのが

筋であり、議会を通る、通らないは後の問題だと思いが。

再答弁（教育長）

私は事前に議会のご意見を伺っておき、それから保護者の方の意向も十分聞こうと思っております。



大崎中学校

問 中学校および中野と西野小の統合

答 親の理解を得ながら進める



たにもと まさし 議員 谷本 昌

質問（谷本議員）

中学校および中野小と西野小の統合の方針が教育委員会で決定したようだが、子供も親も夢や願い、不安を抱えている。また、生徒たちに動揺をきたさないよう、それぞれの親、関係者と校名、通学手段、統合方法などあらゆる問題を想定し十分に話し合い、検討委員会を設置するなど万全の体制で臨むべきだ。

答弁（教育長）

中学校統合は『21年4月までに』に向かって、検討課題を早急に整理し、保護者、地域の理解を得ながら

進めて行く。

中野、西野小については、先日西野小関係者と話し合ったが、発言が少なかつた。出来るだけ多くの意見をくみ取りながら、積極的に進めて行く。

問 健康増進複合施設について

答 後年度に過大負担のないよう取り組む

質問（谷本議員）

- ① 山側道路の町道接続、下水道の改善の検討は
- ② 建設を楽しみにしている声を聞く。ただ、今までの、収支を考えた運営計画をおろそかにし、後年度負担でいきづまる場合が間々ある。きっちり収支計画を立てるべきだ。

答弁（町長）

- ① 道路は駐車場等への進

- ① 入路なのでつながらない。下排水路は改善する。
- ② 後年度に問題の残らないように十分配慮して進める。

問 大崎上島町のこれからは

答 長期総合計画に基づいて進める

質問（谷本議員）

瀬戸田町も行く先が決定し、この近辺では唯一の町となった。

答弁（町長）

- ① 地名表示は今のままだ。
- ② 今のところ未知数だ。
- ③ 頑張るだけこの島で頑張るべきと考える。同時に財政状況など町の置かれている状態を町民に理解していただくよう努める。
- ④ このまま頑張るのか、さらなる合併を考えるのか。

問 大串干拓地埋め立て計画

答 早急な埋め立ては自然環境を壊す

質問（谷本議員）

この土地には、買収費等で12億円以上、裁判で5億円以上の税を投入している。

の量は。

- ③ 早期完成が、過去の投資、裁判の不祥事への対応につながると思われるが。

答弁（町長）

- ① 土量は約100万³m。

問 台風対策について

答 出来るだけ対応する

質問（谷本議員）

今回、ゴミよけネットは、消防団によって設置したが、台風のためにやっていたのでは、消防団もたまらない。今までの被害状況を検討し、県に關係するところは県で、町に關係するところは町で、町の最重要課題として、防波壁を全町的に作り、外表面地区等海岸部にはテトラポットの設置などを進め、被害を最小限に食い止めるべきだ。

答弁（町長）

現在部分的には取り組んでいる。今後も県に防波堤テトラポットの設置を強く要望して行く。

- ② 年間2万³m位。
- ③ 急速な自然環境の変化は地域に問題を起す。

公共残土の捨て場の確保から早期埋め立てには反対だ。

問 高潮時の消防団の対応を統一した体制については

答 基本は区長から消防本部へ要請です



ふじわら たつひで 議員
藤原 龍秀

指揮命令系統が十分でない
ので早急に各部の部長、分
団長に集まってもらって一
本化、統一化を図るべきだ
ということでした。また、

各区長さんと協議してい
きたいと思います。



台風時に消防団が作った土嚢

問 見守りシステムの緊急時の対応は

答 施設のケアマネージャー、親戚等の理解を得ます

質問 (藤原議員)

現在アンケートがとられ
ている見守りシステムだが、
緊急時の対応に不安を持っ
ている。もっとこのシステ
ムをアピールしてはどうか。

詳しい内容は面接で行いま
す。緊急時には、ケアマネー
ジャーさんと一緒に考えて
いきますが、親戚、近所の
方々の理解がいただければ
と思っています。

答弁 (企画課長)

現在町内の福祉関係の事
業所と協議しています。こ
のシステムを30戸の家庭に
試験的にやってみることに
していますが、親を残して
出ている子どもさんに携帯
電話で知ることができると
システム等がありますので、



問 警察官の増員については

答 県に強く要望しています



まつばら しげる 議員
松原 茂

信をお伺いいたします。

答弁 (町長)

県の方針の中でも増員を
順次していく計画の中で進
めておると聞いております。
広島市、福山市における犯
罪件数の増加に対応するべ
く中山間地の警察署の減員
という事に結びついてきた
結果だというふうに伺って
おります。当面対処する方
法として、木江署との連携
の中でパトカーを最大限巡
回するという事で今進めて
おります。県の町村会とし
ましても、県に対して住民
安全確保の為地域警察力の
充実と機能を強化するとい
うことで、強く要望します。

質問 (松原議員)

平成9年4月に旧大崎町
の原下、大西両駐在所を本
郷地区に統合、新築して、
二人体制の駐在所として発
足いたしました。その駐在
所も今は一人になり不在時
が多く、住民が相談に行っ
ても、留守でお会いする事
ができませんとの苦情が多く
あります。住民の中には以
前のように親切な島の駐在
さんのイメージが残ってい
るのでしよう。町長におか
れましては、木江署とご相
談の上、警察官の増員を当
局に要望していただきたい
ところでありますので、所



大崎駐在所

答弁 (総務課長)

今回の出動時横の連携、

答弁 (町長)

基本は、区長さんから連
絡があり、対応を協議して
分団、部へ伝達することに
なっている。しかし、従来か
らの活動がありますので、
それはそれで良いと思います。

離島の行政運営 リサイクル等研修

10月24日～26日

長崎県対馬市・壱岐市・福岡県宗像市

総務福祉文教委員会視察研修報告

合併により、島が一つの自治体となった、「対馬市」「壱岐市」に向いて、10月24日から3日間、研修視察を実施しました。

離島という共通する条件の中で、効率的な行政運営を推進する為の課題についての研修です。

また、宗像市の「エコパーク宗像」において、具体的なリサイクル推進体制について研修しました。主な内容について報告します。

対馬市

合併による建設計画に、光ファイバー網によるケーブルテレビ事業があり、事業費70億円で実施し、個人負担5万円ですべての家庭に接続すること。今後の展開なども含め、参考にしていくべき内容です。

財政については、現予算が390億円ですが、5年後には計画から100億円以上縮小となる事から、補

助金削減や合併後7名の助役を2名にするなど組織の見直しを実施。こうした財政状況や計画変更などを、そのつど広報で公開し住民理解を求めているとの事です。

その他、リサイクルや通学バス、支所機能などの研修をしました。

壱岐市

長崎県内トップで合併。本所、支所は、地域格差を拡大させない為、行政機能を分担している。課長の権限が本所、支所で同等であることから混乱もあるとのこと。見直しを考えており、庁舎新築を計画中です。

財政が、厳しくなることを前提に、合併後の市長報酬・議員報酬、管理職手当では自主的に10%～5%を減額。補助金が、予算の1割弱を占めていることから、検討委員会の答申を待つ、10%を目標に削減を実施す

ることです。

珍しい取組みでは、行政で企画しての「お見合い」が実施されていました。一年で1～2組は結婚成立とのことです。

エコパーク宗像

150億円をかけ、9万5千人分の可燃ごみの焼却とリサイクルごみの処理を一ヶ所で行う見事な施設でした。



市内276ヶ所で土日に受け付ける13種類のリサイ

クルゴミ、ほとんどがきれいに洗われ、一部の不十分なゴミの再分別に、高齢者と障害者の方が携わっていました。来年から始まるリサイクル、大いに参考としたいものです。



おわりに

対馬には芸予諸島から多くの移住者があるとのこと、また壱岐には、造船で深い関わりが。遠方の島に意外な繋がりがありました。離島を「特徴」として巻き返そうとする力強さに、元気を頂いた研修でした。

防災対策研修

10月3日～5日

北海道・豊頃町・浜中町



産業建設常任委員会視察研修報告



日本で一番防災対策が進んでいると言われる北海道浜中町と豊頃町に視察研修に行きました。

この研修の目的は台風の度に来る高潮対策並びに最近全国で頻繁に起きる地震対策について現地の生の声、現場の対応・対策を本町に生かせるように視察研修しました。

最初に訪問した浜中町は、十勝沖地震で人的被害が死

傷者13人、住宅被害306戸。被害総額2億6千万円。チリ地震津波では人的被害が死傷者11人、住宅被害534戸で被害総額21億1千万円。根室半島沖地震では人的被害11人、住宅被害124戸、被害総額6億7千万円など度々の被害を受け、津波・高潮対策の為に高さ5・7m、長さ17kmもコンクリート壁をし、緊急時の為に避難場所の確認、家族との連絡方法の備えなどしており、わが町にも適応できると思いました。

次に平成15年9月26日に起きた十勝沖地震で壊滅的被害を受けた豊頃町を訪問し寸断された道路、剥き出しになった下水道管、流砂現象による埋没した小型合併槽、つづら折りに重なった漁船のある港、決壊した堤防後などを現地視察しました。

大崎上島町も地震がいつくるかわからないし、台風

のたびに高潮による床上、床下浸水の警戒をしなければいけないので、綿密に防災計画を練りハザードマップ（避難場所確認）、避難ルート・場所を示す案内板を作成して、災害弱者の避難方法の確立などと共に、ライフ・ラインを確実に確保しなければならぬと強く感じ、今後この問題について継続的に研究、審議、勉強をしていかなければいけないと意を決しました。



編集後記



合併前より、交通問題協議会が島内交通の課題として取り組んで参りましたコミュニケーションバスの運行が11月より開始されました。住民の皆様がどんどん利用され、合併してよかったですと実感されることのひとつになればと思います。

先の郵政解散では、「小泉改革」の名のもとに、自民党が圧勝し、ダイナミックに「改革」が進んでいるか見えません。しかし、真の「改革」が行われるかどうかはこれからです。国民の厳しい監視が必要で

す。特に田舎に住んでいる我々にとっては、「改革」の名のもと、地方切捨、田舎切捨てにならないようお願いいたします。